

高松塚壁画館 冬季企画展

「飛鳥・藤原の世界遺産登録に向けて」

檜隈地域の世界遺産

令和6年9月9日に、国の文化審議会世界文化遺産部会において、令和6年度の世界文化遺産推薦候補が発表され、「飛鳥・藤原の宮都」が決定されました。令和7年2月までに推薦書（正式版）をユネスコ世界遺産委員会へ提出し、令和8年に世界遺産に登録されることが目標です。

世界文化遺産に国内推薦された資産「飛鳥・藤原の宮都」には、22の構成資産候補があり、その内訳は、明日香村：15、橿原市：7、桜井市：1（大官大寺が明日香村、橿原市にまたがる）となっています。この数多くの構成資産候補地をシリーズでご紹介してまいります。

今回の冬季企画展では、高松塚壁画館近隣で当館より徒歩で散策できる「檜隈地域の世界遺産」として候補地の5ヶ所をご紹介しますので、現地散策しながら楽しんで頂きたいと思います。



●展示期間

令和7年1月18日（土）
～3月2日（日）

●開館時間

午前9時00分～午後5時00分
（入館は午後4時30分まで）



※休館日：2月10日（月）

●入館料

大人 300円
学生 130円（高校・大学）
小人 70円（小学・中学）



●展示会場

高松塚壁画館

奈良県高市郡明日香村平田439
Tel0744-54-3340
<https://www.asukabito.or.jp>



<協力> 明日香村教育委員会文化財課

メモ

- ①明日香村役場の渡り廊下では、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」を紹介するパネルを掲示し「飛鳥・藤原」の価値や構成資産について解説しています。
- ②橿原市では「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産「特別史跡藤原宮跡」をより理解して頂くことを目的に、平成18年から「橿原市藤原京資料室」を開設しています。